

2009年度

科目名	教育実習指導(公民)		
担当教員	三宅 奎介、浅野 宜之		
配当	人社4	コード	80831
開期	集中通年	講時	集中0限
		単位数	1
授業テーマ	中・高等学校教育実習の意義理解と教職への一体感の形成について		
目的と概要	教育実習は大学における教育職員養成過程の基礎として、中・高等学校の教育現場に臨み、直接的・体験的に実施する授業である。本講座では教育実習を事前・実施・事後のまとりに位置づけ、教員を志すものとして自らの生き方と重ね合わせ、その資質能力を高めるとともに教職への一体感を培う。従って、教育実習の事前授業では「教育実習の意義・内容・方法」を、事後授業では「体験に基づく教職観」について研究し、その修得を図る。		
成績評価法	①授業レポート(50%)②教育実習終了報告書、教育実習評価(30%) ②授業態度(20%)を基準に総合的に判断する。		
テキスト	「子どもがつながる学級集団づくり入門」 新保真紀子 明治図書		
参考書			
履修に当たっての注意・助言	①授業の開講日に ②教育実習の手続きを確実に ③「実習報告書」の提出 ④授業は2名の教員で実施		
講義計画			
<p>第1回 教職課程・教育実習の意義及びを理解する</p> <p>第2回 実地研修の観点から中・高等学校の学校運営について理解する。 実習手続きの指導(教務課)</p> <p>第3回 人権教育の課題と指導のあり方について理解を深める。</p> <p>第4回 子ども理解の探究と生徒指導のあり方について理解を深める。</p> <p>第5回 学習指導案作成と授業指導の心得等々について理解を深める。</p> <p>第6回 公民科の教育実習について</p> <p>第7回 公民科の学習指導について</p> <p>第8回 実習前の確認事項について</p> <p>&lt;教育実習&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 実習校への挨拶・打ち合わせ訪問(各自) ※後期実習生は一ヶ月前</li> <li>* 中・高等学校教育実習(専任教員による訪問指導)</li> <li>* 「教育実習報告書」と提出</li> </ul> <p>第9回 実地研究のまとめ・発表と講評指導</p> <p>第10回 実習後の報告および反省</p>			